

以下、本文-----

VertebroBasilar Dolichoectasia の自然歴および外科的治療の成績に関する多施設共同登録研究

1. 研究の対象

2010年1月1日から2019年12月31日の間、当院でVertebroBasilar Dolichoectasia (VBD)と診断され何らかの外科的治療を受けられた方

2010年1月1日から2019年12月31日の間、当院でVBDと診断され、画像による経過観察がされている方

2. 研究目的・方法

椎骨脳底動脈拡張延長(VBD)は脳動脈瘤の一型であり、発生頻度は脳動脈瘤の中の0.07-0.1%と極めて稀です。VBDは名前が示す通り、主に脳底動脈という脳幹を栄養する血管が拡張し、また高度に蛇行します。この拡張蛇行によって脳幹を圧迫したり、動脈瘤のように破裂したり、脳幹の脳梗塞を起こすことがあります。この傾向はサイズの大きなものほど顕著です。

しかし治療は極めて難しく確立したものは未だありません。血管そのものが拡張するために通常の嚢状動脈瘤のようにクリッピングやコイル塞栓術は困難です。また脳底動脈からは脳幹に多数の細い栄養血管を分枝していて脳底動脈の遮断は脳幹の脳梗塞を引き起こし重篤な後遺症を招く危険性が高いのです。

本研究では、全国の脳血管内治療の主要施設に対してアンケート調査をし、自然歴及び外科的治療の方針、転帰を聴取することで、今後の治療指針に資するデータを提供することを目的としています。

研究期間は当院倫理審査承認日(2020年3月17日)から2021年3月31日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病名、既往歴(生活習慣病や脳血管障害など)、並存疾患、VBDのサイズ、部位、治療の状況など、CT等の画像 等

4. 外部への試料・情報の提供

本研究で使用するデータは、あなたのお名前等の個人情報とは無関係の研究番号を付して管理し、誰のデータであるか直ちに判別できないよう研究開始時に匿名化を行います。そ

の上で、データセンターへのデータの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。なお、あなたのお名前等と研究番号との対応表は、照合が必要になった場合のため、当院の研究責任者が保管・管理します。

5. 研究組織

京都大学医学部附属病院 石井 暁 他

日本脳神経血管内治療学会認定専門医在籍施設

日本脳神経血管内治療学会公式ホームページ

<http://jsnet.website/documents.php?id=42>

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者

高知大学医学部附属病院脳神経外科 福田 仁

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

電話 088-880-2397

研究代表者：

京都大学医学部附属病院脳神経外科 石井 暁

-----以上